

第7次高松市行財政改革計画

～信頼と活力に満ちた市役所を目指して～

平成28～30年度実績報告書

令和元年8月

目 次

I 総 論

- 1 第7次高松市行財政改革計画の戦略的取組と推進体制
- 2 目標値と実績値
 - (1) 重点取組
 - (2) 財政指標
 - (3) 目標効果額と実績効果額
- 3 計画に変更のあった実施項目等
 - (1) 計画に追加した実施項目
 - (2) 中止とした実施項目

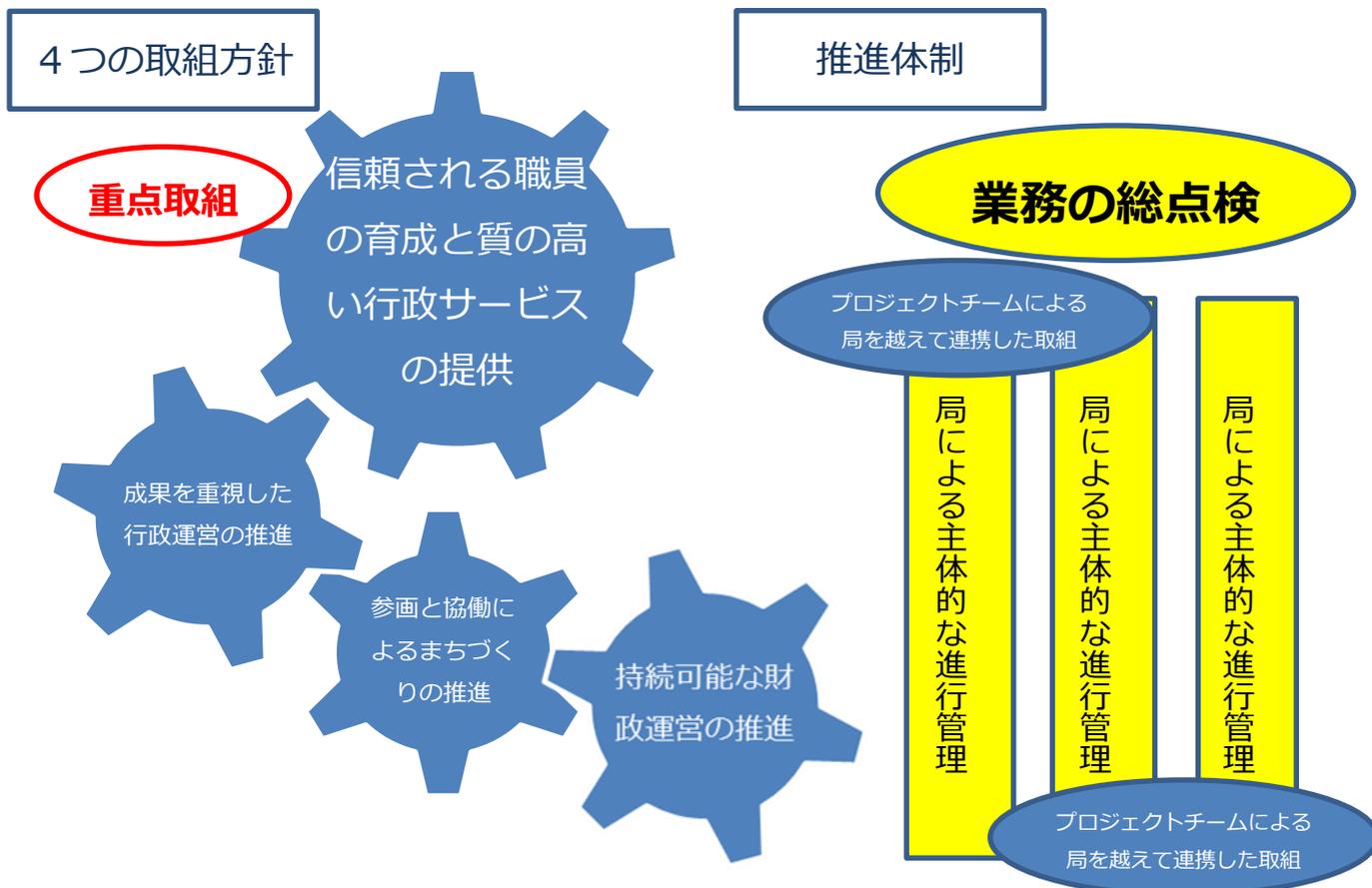
II 各 論

- 1 局進行管理
 - (1) 取組状況（局別）
 - (2) 目標達成度（局別）
 - (3) 効果額（局別）
- 2 局進行管理体制
- 3 プロジェクト進行管理体制
- 4 【参考】外部評価による事業の見直し状況

1 第7次高松市行財政改革計画の戦略的取組と推進体制

第7次高松市行財政改革計画（平成28年4月策定）

《計画期間》平成28～令和元年度（4年間）



2 目標値と実績値

(1) 重点取組

- 信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

指標	計画策定時点 (平成26年度)	28年度	29年度	30年度	目標値
市職員としてのコンプライアンスを理解している職員の割合	85.1%	91.6%	90.2%	87.9%	100%
市民サービスアンケート（集中実施）における満足度	92.9%	96.6%	98.0%	98.0%	100%

「市職員としてのコンプライアンスを理解している職員の割合」は、平成29年度と比較し、2.3ポイント減少した。

「市民サービスアンケート（集中実施）における満足度」は、平成29年度と同じく98ポイントであった。継続して積極的に担当所属において取り組むとともに、全庁を挙げて目標達成に向けて取り組みを進める。

(2) 財政指標

ア 経常収支比率（低い方が望ましい指標）

財政指標 (目標値)	計画策定時点（平成26年度）決算値		実績値
	高松市	中核市平均	
90.0%	87.3% (29年度：90.2%)	90.8% (29年度：92.5%)	92.1% (30年度決算見込み)

27年度 28年度 29年度 30年度 元年度

◆ 実績 ■ 目標 ▲ 【参考】中核市

30年度は、経常経費が増加（+14億円）したことや、地方交付税などの経常一般財源が減少（▲4億円）したことにより、前年度比で、1.9ポイント上昇し、目標の90%以下を達成できなかった。

イ 実質公債費比率（低い方が望ましい指標）

財政指標 (目標値)	計画策定時点（平成26年度）決算値		実績値
	高松市	中核市平均	
10.0%	9.2% (29年度：8.7%)	7.3% (29年度：6.5%)	8.1% (30年度決算見込み)

27年度 28年度 29年度 30年度 元年度

◆ 実績 ■ 目標 ▲ 【参考】中核市

元利償還金（繰上償還分除く）の減等により、前年度比で、0.6ポイント改善し、目標を達成した状況を継続している。

(3) 目標効果額と実績効果額

- 計画期間内に実施する取組における期待される効果額

約7億8千万円

(千円)

目標効果額	28年度	29年度	30年度	令和元年度	累計額
歳入	11,133	34,107	55,654	65,755	166,649
歳出	98,998	128,972	175,793	213,189	616,952
効果額 (単年度)	110,131	163,079	231,447	278,944	783,601
効果額 (累積)	—	273,210	504,657	783,601	

(千円)

実績効果額	28年度	29年度	30年度	令和元年度	累計額
歳入	59,247	103,032	120,410	—	282,689
歳出	115,354	223,614	238,152	—	577,120
効果額 (単年度)	174,601	326,646	358,562	—	859,809
効果額 (累積)	—	501,247	859,809	—	

(注) 水道事業を香川県広域水道企業団へ移管したことに伴い、30年度以降は目標効果額、実績効果額ともに、水道事業に関する効果額を除いている。

○ 取組項目ごとの内訳（平成 28～30 年度効果額）

取組項目	実施 項目数	効果額（千円）		達成度
		目 標	実 績	
1 信頼される職員の育成と質の高いサービスの提供				
(1) コンプライアンスの徹底	1	—	—	
(全局共通取組項目)「コンプライアンス推進施策」の実施				
(2) 職員の意識改革、能力向上	3	—	—	
(全局共通取組項目) 職位ごとに求められる責任、役割の認識				
(全局共通取組項目) 専門性の維持、向上				
(全局共通取組項目) 技術継承の推進				
(3) 組織の活性化	3	—	—	
(全局共通取組項目) 人事評価制度の適正な運用				
(全局共通取組項目)「人財育成ビジョン」に基づく職場環境の整備				
(4) 仕事の進め方の見直し	2	—	—	
(全局共通取組項目) 各課における「業務マニュアル」の見直し				
2 持続可能な財政運営の推進				
(1) 自主財源の確保	15	137,345	359,617	261.8
(2) ファシリティマネジメントの推進	10	36,920	190,255	515.3
(3) 定員・給与の適正化	3	45,800	0	0
(4) 社会保障費の抑制	8	209,148	189,924	90.8
3 成果を重視した行政運営の推進				
(1) 事務事業の改革	24	53,869	44,464	82.5
(2) 業務の委託化・民間活力の導入	4	4,598	2,305	50.1
(3) 最適な行政サービスの提供	12	16,307	72,926	447.2
(4) 施設の効率的運営・利用率向上	7	670	318	47.5
4 参画と協働によるまちづくりの推進				
(1) 市民の市政参画意識の醸成と協働の取組	10	—	—	
(2) 職員の協働意識の向上	2	—	—	
(3) 市政の見える化	1	—	—	
合 計	105	504,657	859,809	170.4

(注) 効果額は 28 年度からの累計であるため、28・29 年度の水道事業に係る効果額を含む。

3 計画に変更のあった実施項目等

(1) 計画に追加した実施項目

分類番号	2 - (2) (ファシリティマネジメント の推進)	担当所属	環境局 環境施設対策課
実施項目	公衆便所管理等事業		
実施内容 (概要)	<p>【平成 28 年度外部評価対象事業】</p> <p>公衆衛生の観点から、市民並びに来訪者の需要に応えるために設置している公衆便所については、適正な管理を行うとともに、周辺状況の変化に則し、市民トイレの廃止を行うなど経費の削減に努めてきたところである。</p> <p>「改善」の判定を受けたことから、個々の便所について周辺状況や利用状況を調査し、必要性を取りまとめ、廃止できる便所を抽出し、関係者と協議を進める。</p> <p>また、ネーミングライツ事業の導入の可能性を探るなど、新たな財源確保に努める。</p>		
個別目標	<p>平成 28 年度</p> <p>栗林公園前公衆便所の清掃委託内容の見直しを行う。</p> <p>平成 29 年度以降</p> <p>①公衆便所の周辺状況や利用状況の調査</p> <p>②個々の公衆便所の必要性を検討し、廃止できる便所の抽出</p> <p>③関係者と協議</p> <p>④ネーミングライツ事業の導入の可能性の検討</p>		
実施工程	29 年度	30 年度	令和元年度
	①～④の実施	③の実施	③の実施

分類番号	3 - (3) (最適な行政サービスの提供)	担当所属	創造都市推進局 文化財課
実施項目	歴史資料館管理運営事業（ほか関連 4 事業）		
実施内容 (概要)	<p>【平成 28 年度外部評価対象事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史資料館管理運営事業 ・ 歴史資料館常設展事業 ・ 讃岐国分寺跡資料館管理運営事業 ・ 香南歴史民俗郷土館管理運営事業 ・ 石の民俗資料館管理運営事業 <p>集客力アップに向けた P R 方法等を見直す。</p>		
個別目標	集客方法の調査、研究及び広報アドバイザー制度の活用等 P R 方法を見直す。		
実施工程	29 年度	30 年度	令和元年度
	4 館計 140,000 人	4 館計 140,000 人	4 館計 140,000 人

分類番号	3 - (3) (最適な行政サービスの提供)	担当所属	教育局 生涯学習課生涯学習センター
実施項目	コミュニティセンター講座等事業		
実施内容 (概要)	<p>【平成 28 年度外部評価対象事業】</p> <p>現在、市内 5 2 コミュニティセンターにおいて、生涯学習に関する講座の開催を委託している。</p> <p>生涯学習に関する地域のリーダー養成を重視するとともに、コミュニティの再生につながる事業となるよう、講座の開催方法や内容等について見直しを図っていく。</p>		
個別目標	<p>地域の生涯学習をコーディネートするキーパーソンを養成する「生涯学習コーディネーター養成講座」の受講者数を増加させる。</p> <p>27 年度受講者数 464 人</p>		
実施工程	29 年度	30 年度	令和元年度
	480 人	490 人	500 人

分類番号	3 - (2) (業務の委託化・民間活力の導入)	担当所属	教育局 中央図書館
実施項目	図書館運営事業 (ほか関連 1 事業)		
実施内容 (概要)	<p>【平成 28 年度外部評価対象事業】</p> <p>直営での運営体制を継続し、本市図書館協議会の意見を参考に、より効果的・効率的な事業運営を行う。</p> <p>また、指定管理者制度導入等については、外部評価の結果を踏まえ、中・長期的な視点の中で、他都市の導入事例などを調査・研究し、慎重に、様々な面から導入の可能性を検討する。</p>		
個別目標	より効果的・効率的な事業運営を行う。		
実施工程	29 年度	30 年度	令和元年度
	指定管理者制度等の導入可能性を検討	効率的な運営の検討・実施	効率的な運営の検討・実施

分類番号	3 - (1) (事務事業の改革)	担当所属	教育局 学校教育課
実施項目	教育資金支援事業		
実施内容 (概要)	【平成 28 年度外部評価対象事業】 財政負担が増加しないように、経済的要件や給付月額は据え置き、その上で、成績要件については 29 年度奨学生より平均 3.1 以上から 3.5 以上に引き上げを行う。		
個別目標	支給対象者の増加が懸念されることから、財政負担が増加しないように成績要件などについて見直しを行う。		
実施工程	29 年度	30 年度	令和元年度
	成績要件の引上げの実施	推進	推進

分類番号	4 - (1) (市民の市政参画の醸成と協働の取組)	担当所属	市民政策局 男女共同参画・協働推進課
実施項目	男女共同参画社会推進事業		
実施内容 (概要)	【平成 29 年度外部評価対象事業】 男女共同参画週間啓発行事・男女共同参画市民フェスティバル・男女共同参画推進懇談会の開催において、広報たかまつ、高松市ホームページ及び高松市商工会議所会報誌に掲載するほか、報道機関への情報提供、各地区のコミュニティセンター等への周知用チラシの設置や事業所へのチラシの郵送等を行う。また、Facebook 等の SNS を利用した効果的な周知を図っていくとともに、講演会終了後は、開催概要を講演者の了承を得てホームページに掲載する。 さらに、高松商工会議所に講演会募集のホームページへのリンクを依頼するとともに、より多くの民間団体等にも連携協力を呼びかける。		
個別目標	①Facebook 等の SNS を利用した周知 ②講演会終了後、開催概要を講演者の了承を得てホームページに掲載 ③講演会参加者募集のホームページへのリンクの依頼 ④高松商工会議所を始め、より多くの民間団体等への連携協力依頼		
実施工程	30 年度	令和元年度	
	①、②、③、④	①、②、③、④	

分類番号	2 - (4) (社会保障費の抑制)	担当所属	健康福祉局 長寿福祉課
実施項目	高齢者福祉通信機器貸与等事業		
実施内容 (概要)	【平成 29 年度外部評価対象事業】 「日常生活の不安や孤独感の解消できない方」については、既存事業のあんしん通報サービスが、緊急時だけでなく、高齢者が登録した方に対し、コールセンターを通じて自分に電話してもらうよう依頼できる両方の機能を有することなどから、新規の受付を中止する方向で実施する。		
個別目標	平成 29 年度で新規貸与は原則終了とする。		
実施工程	30 年度	令和元年度	
	新規貸与は実施しない。	—	

分類番号	2 - (4) (社会保障費の抑制)	担当所属	健康福祉局 長寿福祉課
実施項目	高齢者住宅改造助成事業		
実施内容 (概要)	【平成 29 年度外部評価対象事業】 所得制限の要件である「生計中心者の前年中の所得が 5 0 0 万円以下」を、「世帯全員が市民税非課税」へ変更する方向で検討する。		
個別目標	平成 30 年度から所得制限の要件を、世帯全員が市民税非課税に変更する。		
実施工程	30 年度	令和元年度	
	所得制限の要件を、世帯全員が市民税非課税に変更する。	—	

分類番号	3 - (1) (事務事業の改革)	担当所属	創造都市推進局 農林水産課
実施項目	市民農園整備事業		
実施内容 (概要)	【平成 29 年度外部評価対象事業】 市民農園の利用率が伸び悩んでいるが、各農園の利用率は開設場所の選考時において、ある程度予想できる要因もあることから、事業の対象とする市民農園の採択に係る審査基準を点数化するとともに、立地条件や集客見込みに重点を置き、利用者の見込める農園を採択する。		
個別目標	市民農園の利用率を向上させる。 市民農園の利用率 H 2 8 年度 : 85.4% 最終目標 : 90% (R 4 年度)		
実施工程	30 年度		令和元年度
	市民農園の利用率の目標 86%		市民農園の利用率の目標 87%

分類番号	3 - (1) (事務事業の改革)	担当所属	創造都市推進局 観光交流課
実施項目	観光ボランティアガイド育成事業		
実施内容 (概要)	【平成 29 年度外部評価対象事業】 若年層ガイドの育成を行うため、ガイドを行っている 3 か所 (玉藻公園・屋島・サンポート高松) の各施設・スポットごとの募集や地元の学校との連携を働きかける等、募集方法や募集内容を見直す。 また、他の団体におけるガイドの待遇やインバウンド対応について確認するとともに、今後の通訳案内士の動向を踏まえ、協会の在り方を検討する。		
個別目標	<若年層ガイドの育成> ①ガイドエリア・ガイド内容の調査 ②ガイド用原稿及び説明資料の作成 ③地元の学校に働きかける。 <協会の在り方検討> ④他団体の現状調査 ⑤他団体の現状を踏まえ、協会の在り方を検討する。		
実施工程	30 年度		令和元年度
	①、②、③、④、⑤の実施		③、⑤を引き続き実施

分類番号	3 - (1) (事務事業の改革)	担当所属	創造都市推進局 観光交流課
実施項目	観光団体育成事業		
実施内容 (概要)	<p>【平成 29 年度外部評価対象事業】</p> <p>全団体に対して、目的や事業内容等について、ヒアリングを行い、事業の必要性を検討する。また、28 年度の決算における自主財源及び繰越金の合計額が事業費を上回る団体に対して、30 年度の補助を見送ることとする。</p> <p>ただし、29 年度執行状況も勘案した上で判断する。</p> <p>担当者が各団体に出向き、厳密な監査を行う。</p> <p>竜桜公園の維持管理については、委託料としての支出についても併せて検討する。</p> <p>ヒアリングの結果を踏まえ、各団体への補助の必要性を勘案しながら、補助金の使途、交付要件について基準を定める。</p>		
個別目標	<p>①団体の目的、事業内容、使途についてヒアリングを行い、補助の必要性を精査する。</p> <p>②精査の上、補助を必要としないと判断した団体について、平成 30 年度予算要求を行わない。</p> <p>③年度末に、担当者等による監査</p> <p>④使途、補助効果を検証の上、交付基準を作成</p> <p>⑤交付基準に基づき、予算要求</p> <p>⑥交付基準に基づいて運用</p>		
実施工程	30 年度		令和元年度
	①、②、③、④、⑤、⑥の実施		①、②、③、④、⑤、⑥の実施

分類番号	3 - (3) (最適な行政サービスの提供)	担当所属	創造都市推進局 産業振興課
実施項目	中小企業経営講習会等事業		
実施内容 (概要)	<p>【平成 30 年度外部評価対象事業】</p> <p>関係機関と一層の連携（共催等）に努めるとともに、講習会の内容の検討に当たっては事業者側のニーズの把握に努める。</p> <p>また、開催の時間帯について中小企業者等の都合に合わせた柔軟な対応に努めるほか、市HPや他の中小企業者等を対象とした事業を活用した周知の手法を検討する。</p>		
個別目標	受講者数の増加（29 年度の受講者数：2,091 人）		
実施工程	令和元年度		
	2,400 人		

分類番号	2 - (4) (社会保障費の抑制)	担当所属	健康福祉局 長寿福祉課
実施項目	高齢者福祉タクシー助成事業		
実施内容 (概要)	【平成 30 年度外部評価対象事業】 申請者の意識調査を実施し、この結果に基づき交付基準を作成し、効果的な運用、事業費の抑制、高齢者への総合的な移動支援を検討する。		
個別目標	平成 30 年度：申請者の意識調査を実施 令和元年度：交付基準を作成 令和 2 年度：運用開始		
実施工程	令和元年度		
	交付基準作成		

分類番号	3 - (1) (事務事業の改革)	担当所属	都市整備局 交通政策課
実施項目	違法駐車防止対策事業		
実施内容 (概要)	【平成 30 年度外部評価対象事業】 トラックなどの貨物集配車両の違法な路上駐車対策に取り組む高松ポケットローディング協議会への補助を行うとともに、街頭キャンペーンや違法駐車車両調査により、違法駐車を防止することで、道路交通の円滑化を図り、交通事故防止をもって市民の安全で快適な生活環境を確保している。そのような中、違法駐車防止のための啓発街頭キャンペーンや違法駐車防止重点地域における調査は必要であるが、今後、一部の荷捌き駐車場が利用できなくなることに伴う、新たな駐車場の設置が難航していること、配送・集荷業者が、手法を変更し、車両総量を抑制する取組を始めていることを考慮すると、令和元年度以降の運営補助金は実施しない。		
個別目標	違法駐車防止重点地域における状況の注視や啓発活動を引き続き行いながら、荷捌きに係る違法駐車車両の縮減については、県トラック協会を始めとする民間のソフト面での取組みを尊重していく。		
実施工程	令和元年度		
	新規補助は実施しない		

分類番号	3 - (1) (事務事業の改革)	担当所属	創造都市推進局 スポーツ振興課
実施項目	高松市長杯室内陸上競技大会負担金の見直し事業		
実施内容 (概要)	<p>【平成 30 年度追加事業】</p> <p>全国初となる棒高跳びの公認競技が可能な「室内競技場」を併設している特徴を活かし、陸上競技の競技力向上を図ることを目的に、屋島レクザムフィールド（屋島競技場）のリニューアルオープンに併せ、開始した。オープニング記念事業として平成 29 年度に実施し、平成 30 年度以降においては他の競技団体が主催する大会との不均衡、財政面等から、負担金の減額を検討する。</p>		
個別目標	令和元年度からの負担金減額を検討する。(30 年度の負担金 : 300 千円)		
実施工程	令和元年度		
	▲150 千円		

(2) 中止とした実施項目

平成 30 年度に中止とした実施項目

分類番号	3 - (3) (最適な行政サービスの提供)	担当所属	市民政策局 くらし安全安心課
実施項目	交通事故相談事業		
実施内容 (概要)	<p>【平成 29 年度外部評価対象事業】</p> <p>市民が気軽に相談できる窓口として、もっと認知度を上げる必要があり、広報たかまつ以外の広報について改善するなど、利用者数を増加させる。</p> <p>①チラシを作成し、本市以外の相談窓口や交通安全教室などで配布する。</p> <p>②相談窓口を本庁舎 1 階の消費生活センター内に移設する。</p>		
個別目標	<p>①平成 29 年度の半ばから、交通安全教室などで配布・周知する。</p> <p>②平成 30 年 4 月を目途に移設する。</p>		
実施工程	30 年度	令和元年度	
	①、②の実施	① の実施	
中止理由	利用者数の激減や相談員が確保できない状況の中、平成 30 年 4 月から相談所を休止していたが、事業の継続又は廃止を検討した結果、同年 6 月末をもって廃止した。		

Ⅱ 各 論

1 局進行管理

(1) 取組状況（局別）

局 名	実 施 項 目	A 実施済	B 着手済	C 未着手	D 中止	E 未到来	H28-H30 取組項目
市民政策局	5	3	2				5
総務局	14	12	2				14
財政局	12	10	2				12
健康福祉局	14	9	5				14
環境局	10	7	3				10
創造都市推進局	19	7	12				19
都市整備局	14	8	6				14
消防局	5	5					5
病院局	6	3	3				6
教育局	6	1	5				6
合 計	105	65	40				105

(2) 目標達成度（局別）

局 名	H28-H30 取 組 項 目	5 達 成	4 おおむね 達 成	3 ある程度 達 成	2 やや下回 っている	1 かなり下回 っている	0 全くでき なかった
市民政策局	5	2	1	2			
総務局	14	5	8		1		
財政局	12	3	6	1		2	
健康福祉局	14	8	3	1	1	1	
環境局	10	6	1	1	2		
創造都市推進局	19	8	6	3	1	1	
都市整備局	14	8	3		2		1
消防局	5	2	3				
病院局	6	2	3	1			
教育局	6	2	1	2	1		
合 計	105	46	35	11	8	4	1

5達成：100%以上 4おおむね達成：100%未満～85%以上 3ある程度達成：85%未満～70%以上

2やや下回っている：70%未満～60%以上 1かなり下回っている：60%未満 0全くできなかった：0%

(3) 効果額 (局別)

(千円)

局 名	平成 28-30 年度目標効果額			平成 28-30 年度実績効果額			進捗率 (%)
	計	歳入	歳出	計	歳入	歳出	
市民政策局	—	—	—	—	—	—	—
総務局	45,800	0	45,800	0	0	0	0
財政局	51,000	51,000	0	145,990	145,990	0	286.3
健康福祉局	259,240	0	259,240	227,077	0	227,077	87.6
環境局	69,849	14,126	55,723	284,873	72,917	211,956	407.8
創造都市推進局	26,693	0	26,693	65,161	—	65,161	244.1
都市整備局	35,654	35,654	0	57,941	57,941	0	162.5
消防局	114	114	0	5,841	5,841	0	5123.7
病院局	—	—	—	—	—	—	—
教育局	—	—	—	—	—	—	—
旧上下水道局	16,307	—	16,307	72,926	—	72,926	447.2
合 計	504,657	100,894	403,763	859,809	282,689	577,120	170.4

(注) 効果額は 28 年度からの累計であるため、28・29 年度の水道事業に係る効果額を含む。

2 局進行管理制

市民政策局

平成30年度全局共通取組項目の取組実績

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	各課ともに、「新コンプライアンス推進施策」に基づき、リスクマネジメント会議におけるヒヤリハット事例に関する情報共有や、コンプライアンス推進日（毎週金曜日）の朝礼時における地方公務員法の唱和を行うことなどにより、コンプライアンス意識と公務員としての自覚の醸成に努めました。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	各課ともに、事務担当表と年間スケジュール表を作成した上で、担当の役割を明確にするための打ち合わせを行いました。 また、毎月、翌月の月間スケジュールを作成した上で、業務打ち合わせを実施し、担当業務別に進捗状況の確認や課題の情報共有を図りました。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	市町村・国際文化アカデミーの長期研修などへの参加やOJT（職場内研修）を通じて、担当職員に必要な専門的知識の維持、向上に努めました。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	各課ともに、一業務に複数人が関わる体制の整備や、日常業務の中で経験豊富なベテラン職員が業務に関する助言・指導を行うことにより、専門知識や技術の継承に取り組みました。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	各課ともに、人事評価の能力評価及び業績評価について、所属職員との面談を通して、情報・目標の共有、適正な評価の実現に努めました。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	各課ともに、あいさつや声掛けを積極的に行うほか、リスクマネジメント会議において課題や懸案事項に関する情報を共有することなどにより、風通しのよい職場の実現に努めました。 また、市民課では、課内の係長及び若手職員で構成しているステップアップ委員会において、課内業務における課題等について検討を行うことにより、「人財」の育成を図りました。 さらに、政策課やコミュニティ推進課などでは、子育てと仕事が両立できるような職場環境の整備を推進しています。
「人財育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	各課ともに、業務別マニュアルを作成・活用するとともに、必要に応じて更新を行いました。 また、更新したマニュアルについては、随時、各総合センターにも提供し、情報共有しています。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

市民政策局

▶ 平成28~30年度の取組実績評価（局評価）

達成度		
取組項目数	5 件	効果額
【取組状況】		目標効果額
実施済	3 件	実績効果額
着手済	2 件	歳入
未着手	件	歳出
中止	件	計
未到来	件	
【実施・着手率】	100%	【達成率】
		— %
		【達成率】※の割合
		60.0%

▶ 特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名	実施内容（概要）	効果額等
4 - (2) 協働企画提案事業の見直し	平成30年度は、新規2事業、継続2事業を採択実施し、提案団体、関係課、アドバイザー（高松市協働づくり懇談会委員）が、きめ細やかな協議を重ね、事業のブラッシュアップを図ることで、事業内容が充実し、協働への理解が深まるとともに、事業の質の向上につながりました。	—

実績概要

成果	<ul style="list-style-type: none"> ●平成29年度に実施した自治会活動に関するアンケート調査を踏まえ、自治会の在り方に関する中間報告書を公表しました。 ●職員同士の協力体制の強化を図るため、協働推進員同士が情報交換できる研修や、入庁2年目職員との合同研修を実施しました。 ●協働企画提案事業について、新規2事業、継続2事業を採択実施しました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ●地域コミュニティ協議会の中核組織である自治会の加入率低下に歯止めをかける方策が必要です。 ●地域コミュニティ協議会組織の構築からおおむね10年以上が経過し、各地域への活動への理解や取組状況に温度差がみられ、民主的な組織運営や適正な会計処理など、自主・自立の成熟が必要です。 ●地域コミュニティ協議会や市民活動団体等と行政の双方が、協働への理解をより深めることが求められます。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ●自治会加入促進策について、今日の自治会の役割や目的を検証した上で、地域とともに実効性のある具体的な方策を検討していきます。 ●これまでのコミュニティ施策の検証に基づく対応策を着実に実行していくとともに、今後の目指すべき「地域コミュニティ協議会」の在り方を取りまとめ地域と共有します。 ●協働企画提案事業について、提案団体、関係課、アドバイザー（高松市協働づくり懇談会委員）が、きめ細やかな協議を重ね、事業のブラッシュアップを図ることを通じて、それぞれが協働への理解を深めるとともに、事業の充実や市民サービスの向上を目指します。

総務局

平成30年度全局共通取組項目の取組実績

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	各課ともに「新コンプライアンス推進施策」に掲載している各施策を実践し、コンプライアンスの徹底に取り組みました。特に、リスクマネジメント会議の活性化に重点を置き、ヒヤリ・ハット事例について情報共有を図るとともに、職員のコンプライアンス意識の向上を図りました。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	人事評価制度の業績目標を活用し、職位ごとに、懸案事項に対する達成水準や達成方策を明確にすることで、各自に求められる責任や役割を改めて認識する機会とするなど、意識の高揚に努めました。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	総務課、コンプライアンス推進課など関係課が共同で、文書取扱主任等を対象とした各種取扱主任等事務説明会を開催し、文書事務や情報公開制度等について職員の専門性の維持、向上を図りました。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	複数の所属において、ベテラン職員と若手職員がペアを組み、日常業務を行う中で、技術継承の推進に努めました。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	人事評価面談を通じて、職場内の課題認識及び情報共有を行うとともに、コミュニケーションの活性化を図り、風通しの良い職場環境づくりに努めました。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	総務局の目標「気づき・予防」及び局内各課の目標を設定し、目標達成に向けて課題認識及び情報共有を図りました。
「人財育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	事務処理改善チームにおいて検討した事務処理手順の見直し等について、事務処理改善マニュアルを作成し、マニュアルに沿った改善を全庁的に実施しました。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

財政局

平成30年度全局共通取組項目の取組実績

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	定期的にリスクマネジメント会議を開催し、ヒヤリ・ハット事案等を報告し、再発防止策を協議するとともに、情報共有を行いました。また、定期的に地方公務員法第30条等を唱和し、課員全員でコンプライアンス意識の向上に努めました。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	朝礼及び終礼又は係長会などを行うことにより、業務内容や進捗状況を共有するとともに、各職位の責任や役割を明確にし、日々の業務に努めました。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	課内で研修を実施したり、専門性の高い業務については専門の研修を受講するなど、職員のスキルアップを図りました。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	後継者の育成を見据えた、担当業務の体制を構築し、知識・経験の継承に努めました。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	人事評価制度に基づき、適切に各自が目標設定するとともに、面談を通じて意思疎通を図り、指導及び助言をすることができました。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	上司への報告、連絡、相談を適宜行い、情報の共有化を積極的に行い、風通しの良い職場環境づくりを行ってきました。また、あいさつや日ごろからの声かけなどを積極的に行ったことにより、コミュニケーションの活性化が図られました。
「人材育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	各係や課単位での「業務マニュアル」を作成し、必要に応じて適宜見直し、修正を行いました。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

財政局

▶ 平成28~30年度の取組実績評価（局評価）

達成度					
取組項目数	12	件	効果額		取組項目数
【取組状況】			目標効果額	51,000	千円 ※達成
実施済	10	件	実績効果額	145,990	千円 ※おおむね達成
着手済	2	件	歳入	145,990	千円 ある程度達成
未着手		件	歳出		千円 やや下回っている
中止		件	計	145,990	千円 かなり下回っている
未到来		件			千円 全くできなかった
【実施・着手率】	100%		【達成率】	286.3%	【達成率】※の割合
					75.0%

▶ 特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名	実施内容（概要）	効果額等
2 - (1) ネーミングライツの導入	(株)レクザムとの屋島競技場の命名権契約（H29年度から5年契約）による収入に加え、庁舎広告付案内表示板の広告収入を確保しました。	22,830千円

▶ 目標達成度がかなり下回っている（60%未満）実施項目

分類番号・実施項目名	達成度が低い理由
2 - (1) 職員の自家用車駐車場の有料化	平成26年度以降、自家用車駐車場の有料化及び減額案の検討や職員団体との交渉を図ってきたが、進展は見られませんでした。今後、改めて他市の状況も参考にしながら、職員団体との再交渉を行うための打開策の有無について、調査・研究を進めていきます。
分類番号・実施項目名	達成度が低い理由
2 - (1) 未利用地等の売払	未利用地について他課から所管換えを行い、一般競争入札による売払処分を進めるも不調により効果額目標の達成には至りませんでした。今後も廃止施設の跡地等についても適切な売払を行い、財源の確保に努めます。

実績概要	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ●ネーミングライツ事業については、庁舎案内版のモニターに広告を掲載することにより、広告収入を確保しました。 ●市税収納率の向上対策については、早期の滞納整理に努めるとともに、口座振替の利用促進やスマホ収納の導入の検討など、納付しやすい環境の整備を推進することにより、市税の収納率がH29年度97.0%に対し、H30年度97.1%と、目標値を上回りました。 ●市・県民税の特別徴収比率の向上については、令和元年度の特別徴収の完全実施に向けて、県と連携し、事業主への周知等を徹底し、約3,300の事業主が増となりました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ●未利用地について、一般競争入札による売払処分を進めるも不調により効果額目標の達成には至らなかったため、今後も廃止施設の跡地等も含め、適切な売払方法を検討し、実施することで財源の確保に努める必要があります。 ●出先施設における職員の自家用車駐車場の有料化については、職員組合から受け入れられない旨の回答があり、交渉の進展・目途はなく、新たな案の作成にも至っていません。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ●未利用地（廃止施設の跡地等を含む）について、更なる周知を行い一般競争入札による売払処分を進めることで財源の確保に努めてまいります。

健康福祉局

平成30年度全局共通取組項目の取組実績

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	地方公務員法第30条などの唱和に加え、原則、月2回のリスクマネジメント会議の開催など、コンプライアンス推進施策を実践し、各職員のコンプライアンス意識の向上に努めました。 また、各所属のリスクマネジメント会議で挙げた事案については、局内課長会で情報共有し、その要因を分析したうえで、再発防止を検討するなど、局を挙げてリスクマネジメントの強化に取り組みました。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	毎月末に局内課長会を、課においては毎月、適宜、係長会を実施し、各課（係）の行事予定や懸案事項の進捗について、報告を行うことで、共通認識を図り、それぞれの職位に応じた責任・役割について明確化させました。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	長寿福祉部においては、異動職員又は新人職員を対象とした研修会の開催、また、専門職研修会への参加を通じて、専門性の維持・向上に努めました。 地域包括支援センターでは、全所属職員を対象とした毎月の職員研修会において、専門研修や地域ケア小会議の報告を行うほか、介護予防ケアマネジメント検討会や権利擁護検討会等を定期的に開催し、職務の専門性の維持・向上を図りました。 保健センターにおいては、毎月1回定例の職員研修会を実施し、その中で多様な内容の研修を実施するなど、保健師等専門職の職務遂行能力の維持・向上を図りました。 その他専門性を有する職場においては、適宜、研修会の実施やノウハウの継承など、専門性の維持・向上に努めました。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	こども未来部において、新任職員を対象とした、「こども未来部新規職員合同研修会」を開催し、子どもや子育て支援に関する基本的な知識の習得や関係課の業務に関する見識を深めるなど、基礎的な知識の習得と技術継承の推進に努めました。 地域包括支援センターでは、介護予防ケアマネジメントの手法等について詳細なマニュアルを作成し、それを用いた研修会・勉強会を実施することで、担当職員間の情報共有・共通認識を図っています。また、新任職員には着任当初、研修を行っているほか、必ず指導員を付け、専門的知識・技術の承継を行っています。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	人事評価については、公平性・客観性・透明性に留意し、職員の能力及び業績について、適正な評価を実施しました。また、期初・中間・期末面談を通じ、これら面談を単に評価するためのものでなく、職員間のコミュニケーションの活性化にも活用し、風通しの良い職場づくりに努めることができました。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	局内各所属において、ノー残業デー、プレミアムフライデーの積極的な実施等、ワークライフバランスの推進を図りながら、職員一人一人が能力を最大限に発揮できるような職場環境の整備に努めました。 また、局長と所属長の面談や、局長が講師となり局内の課長補佐級職員や係長級職員を対象に研修を実施し、健康福祉局を取り巻く課題や対応方針などの共有に努めました。
「人材育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	局内全所属において、作成している「業務マニュアル」について、その内容を点検するとともに、制度改正や職務遂行時の事故・トラブル等が発生した際には、その都度、見直しを行い、適正な業務の執行体制の整備に努めました。 特に国保・高齢者医療課において、組織している事務改善検討チームでは、課内の係間調整だけでなく、所属又は市役所全体における課題も視野に入れて、問題解決に取り組み、それを業務マニュアルに反映しています。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

健康福祉局

▶ 平成28~30年度の取組実績評価（局評価）

達成度					
取組項目数	14 件	効果額		取組項目数	
【取組状況】		目標効果額	259,240 千円	※達成	8 件
実施済	9 件	実績効果額	227,077 千円	※おおむね達成	3 件
着手済	5 件	歳入		ある程度達成	1 件
未着手		歳出	227,077 千円	やや下回っている	1 件
中止		計	227,077 千円	かなり下回っている	1 件
未到来				全くできなかった	
【実施・着手率】	100%	【達成率】	87.6%	【達成率】※の割合	78.6%

▶ 特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名	実施内容（概要）	効果額等
2 - (2) 保健センター・ステーションの再編の検討及び合併地区保健センターの有効活用・地域包括支援センターの再編の検討	当初、古高松保健ステーション（地域包括支援センターサブセンター古高松）については、「高松市地域包括支援センター・保健センター出先機関の統合整備方針」に基づき、中部総合ステーション（仮称）の整備完了に合わせ、統合する計画でしたが、施設の老朽化等の理由により、その機能を平成30年度末に先行して、既存の総合センターに統合し、廃止したことで、施設管理経費を抑制しました。	古高松保健ステーション（地域包括支援センターサブセンター古高松）の廃止・統合

▶ 目標達成度がかなり下回っている（60%未満）実施項目

分類番号・実施項目名	達成度が低い理由
3 - (1) 高松市社会福祉協議会 助成事業の見直し	平成29年度までは、計画内容に沿った削減を実施し、効果額目標欄に記載の金額を概ね達成していましたが、高松市社会福祉協議会より、経営状況が悪化しているとの申し出を受けて、平成30年度は同協議会の経営状況から判断して、これまでの交付額より増額して交付することとしたため、目標達成度がかなり下回る結果となりました。今後も引き続き、同協議会の経営状況に応じて適切に交付額を決定することとしています。

実績概要	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ●各所属が管理する施設等に設置しているAED（自動体外式除細動器）のリース契約については、これまで、各所属において、個々に契約事務を実施していましたが、平成28年度以降、原則、保健対策課が取りまとめ、契約事務を行っています。平成30年度においても契約事務の取りまとめを行い、契約案件のスケールメリット等の効果により、歳出の抑制を図るとともに、契約事務に係る職員の負担を軽減することができました。 ●医療費適正化の推進として、レセプト点検の充実強化を図るとともに、ジェネリック医薬品の使用促進のため、保険証更新時に「ジェネリック希望シール」を配布することにより、将来的な医療費の削減に努めました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ●国民健康保険事業における医療費及び介護保険給付費の適正化 ●介護予防事業の積極的な実施による要介護者数の抑制 ●廃止（統合）後における施設（健康福祉局関連）の有効活用等
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ●国民健康保険事業における医療費及び介護保険給付の適正化に向け、国の公費が優先的に投入される保険者努力支援制度を最大限活用し、糖尿病性腎症重症化予防プログラム支援対策や特定健診の受診率向上対策、重複服薬対策等の保健事業を積極的に実施します。 ●「高松市立幼保連携型認定こども園整備基本計画」に基づき、就学前の子どもに等しく質の高い教育・保育環境を提供できるよう、市立幼稚園・保育所について、幼保連携型認定こども園への移行を推進します。

環境局

平成30年度全局共通取組項目の取組実績

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	各課において、全職員を対象とする公務員倫理研修を実施し、局内で延べ242人が受講しました。また、リスクマネジメント会議を毎月2回実施し、ヒヤリ・ハット事例などの情報共有やコンプライアンスに関する周知・意見交換を行うとともに、朝礼等におけるCSクレド等の唱和や研修の実施、資料の回覧等を通して、法令遵守意識を向上させました。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	各課において、業績目標の設定及び個人面談、年間スケジュールの作成、業務マニュアルの活用、係長会・係内会議・朝礼・終礼等における業務の進捗状況の打合せ・報告等を通じて、各職員が責任と役割を認識するよう取り組みました。また、衛生センターでは、担当の役割を明確化するため、係ごとの重点目標シートを作成し情報共有や進捗状況の把握及び適切な指示を行いました。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	各課において、職場外研修や資格取得講習の受講を促進したほか、専門的・技術的な情報について会議や資料の回覧等で知識の向上に努めました。また、環境業務課では、職員の担当地区の配置換えにより、収集に必要な地域情報と経験を蓄積し、南部クリーンセンターでは、資源処理工場等の状況確認などを通じた技術・知識の習得を図ったほか、西部クリーンセンターでは、業務に必要な資格の未取得者をリストアップし、計画的に受講、受験を促すことにより資格の取得促進を行いました。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	各課において、業務マニュアルの活用により業務に必要な知識・技術の継承を図ったほか、異動者や若手職員などに対し、上司や先輩職員によるOJTを実施しました。また、環境業務課及び西部クリーンセンターでは、新任職員に対し実務研修を実施したほか、南部クリーンセンターでは、モニタリングや管理運営事業者との打合せを通して知識・情報の共有を推進しました。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	各課ともに、面談を適切に実施し、各職員が職務の遂行において発揮した能力及び達成した実績を公平かつ公正に評価しました。また、面談時に評価の基準について説明し、評価者と被評価者の基準が同じとなるよう取り組みました。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	局内のオフサイトミーティングを年2回実施したほか、各課において、朝礼時のスピーチ、管理職の声掛け、日常的なミーティングの開催、挨拶の励行などを通して、職員間のコミュニケーションを積極的に行うとともに、管理職の人事評価の目標を職員に提示し、課の取組事項の共有に取り組みました。また、環境業務課では、職場の整理整頓を呼びかけ、働きやすい職場づくりに取り組みました。
「人育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	各課において、日常業務におけるヒヤリ・ハット事例や新たな課題などを適宜、業務マニュアルに反映するとともに、年度末にマニュアルの確認・見直しを行いました。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

環境局

▶ 平成28~30年度の取組実績評価（局評価）

達成度					
取組項目数	10 件	効果額		取組項目数	
【取組状況】		目標効果額	69,849 千円	※達成	6 件
実施済	7 件	実績効果額	284,873	※おおむね達成	1 件
着手済	3 件	歳入	72,917 千円	ある程度達成	1 件
未着手		歳出	211,956 千円	やや下回っている	2 件
中止				かなり下回っている	
未到来		計	284,873 千円	全くできなかった	
【実施・着手率】	100%	【達成率】	407.8%	【達成率】※の割合	70.0%

▶ 特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名	実施内容（概要）	効果額等
2-（1） バイオマス発電による電力自給促進・電力売却事業	西部クリーンセンター焼却施設の基幹的設備改良工事を実施し、計画どおり蒸気タービンの更新を完了しました。発電能力が1,400kWから3,000kWに増強されたことから、余剰電力の売電量を増加させ、購入電力量を削減しました。	歳入 72,599千円 歳出▲24,942千円

実績概要	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ●西部クリーンセンター焼却施設の基幹的設備改良工事を実施し、計画どおり蒸気タービンの更新を完了しました。発電能力が1,400kWから3,000kWに増強されたことから、余剰電力の売電量を増加させ、購入電力量を削減しました。 ●衛生センターでし尿等の前処理後、東部下水処理場に移送し、下水とし尿等の共同処理を本格実施しました。 ●直営の家庭ごみ収集に係る段階的な委託の一期目を開始しました。委託後の収集体制について精査した結果、4t収集車3台の減車を行いました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ●家庭系ごみ収集運搬に係る既委託業務の契約方法等について関係団体等と意見交換を行い、積算根拠の見直しを行ったところですが、競争入札への切替については、引き続き調整を継続していく必要があります。 ●1人1日当たりのごみの再資源化量は、近年減少傾向となっています。 ●太陽光発電事業者への市有地の有償貸出しについては、新規の対象案件がありませんでした。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ●西部クリーンセンター焼却施設の基幹的設備改良工事に伴う発電能力の向上を生かし、電力の自給及び余剰電力の売却を推進します。 ●し尿と下水等の共同処理を引き続き着実に実施します。 ●「高松市ごみ分別アプリ」などを活用したごみに関する情報発信に努めるとともに、使用済小型家電リサイクル事業や紙資源リサイクルの推進を継続実施することにより、1人1日当たりの再資源化量の維持を目指します。 ●住宅用太陽光発電システム設置費補助制度について、多核連携型コンパクト・エコシティの実現に資するよう補助制度の見直しを行います。 ●高松駅前広場公衆便所に係るネーミングライツ事業の公募を行います。

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	局内各課において、「新コンプライアンス推進施策」に記載している施策を実践し、意識の徹底を図りました。特に、朝礼及びリスクマネジメント会議において、事故や不祥事の発生を未然に防ぐことの周知、意見交換等を行い、職員への意識付けと風通しの良い職場づくりに向けて取り組みました。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	局内各課において、定期的な係長会を開催し、事業の進捗状況の確認や、懸案事項等の協議を行い、円滑な業務遂行に努めました。また、年間スケジュールを作成した上で、各担当の役割を明確にするための打ち合わせや、終礼を実施することで、担当毎の進捗状況を把握し、適切な指示を行いました。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	実務能力等を身につけた職員が、周囲に情報や知識を伝えることで、専門性の維持に努めるとともに、新人職員・異動職員に対して各種マニュアルを活用した指導・教育を行いました。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	国や県が開催する各種研修会に積極的に参加するとともに、ベテラン職員と新人・異動職員をペアにすることで、日常業務の中で技術継承に取り組みました。また、事務分掌の一部を毎年ローテーションすることにより、前任者が在課中にノウハウを継承できるように取り組みました。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	人事評価制度による面談を活用し、懸案事項や提案事項を聞き取るとともに、職員の職務能力等を公正・適正に評価することで、職員に応じた人材育成や意識改革に活用しています。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	毎朝の朝礼等において、「Takamatsu CS Credo」や地方公務員法第30条を唱和し、公務員としての資質向上を促すとともに、交代でスピーチを実施するなど、風通しの良い職場の実現に向けた取組を実施しました。
「人材育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	局内各課において、担当業務マニュアルを随時更新しながら完成度の高いものを作成することに努めるとともに、各業務の進捗状況を表にして執務室に掲示するなど、全体スケジュールの把握と事務の効率化を図るなどしました。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

創造都市推進局

▶ 平成28~30年度の取組実績評価（局評価）

達成度					
取組項目数	19 件	効果額		取組項目数	
【取組状況】		目標効果額	26,693 千円	※達成	8 件
実施済	7 件	実績効果額	65,161 千円	※おおむね達成	6 件
着手済	12 件	歳入		ある程度達成	3 件
未着手		歳出	65,161 千円	やや下回っている	1 件
中止		計	65,161 千円	かなり下回っている	1 件
未到来				全くできなかった	
【実施・着手率】	100%	【達成率】	244.1%	【達成率】※の割合	73.7%

▶ 特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名	実施内容（概要）	効果額等
2 - (1) 競輪事業の効率的運営	●定年・途中退職者の補充を行わないとともに、全従業員を対象とした雇用調整を行い、経費の削減に努めました。	52,304千円

▶ 目標達成度がかなり下回っている（60%未満）実施項目

分類番号・実施項目名	達成度が低い理由
3 - (1) サンドヒルかほく市高松グラウンド・ゴルフ大会補助金の見直し	●事業の廃止（事業費5万円）に対し、10%の減額に留まっているため。 ●引き続き、廃止・減額に向けて、関係団体と協議を図ります。

実績概要

成果	<ul style="list-style-type: none"> ●農村環境改善センター等の委託事業の内容を見直すことにより、経費の縮減に努めました。 ●高松まつりを除く各イベント等の補助金について、対前年度比7%を削減しました。 ●ため池本来の役割を終えた法定外公共物を、適正価格で売却し、本市の財産収入となりました。 ●市長杯室内陸上競技大会について、主催団体との協議を踏まえ内容を見直し、負担金の減額を行いました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ●収蔵資料の登録及びホームページの充実には努めましたが、収蔵品情報システムの利用は前年度を下回ったため、引き続き資料の登録を進めるとともに、各館の登録情報を充実させ、より多くの利用が見込めるよう情報発信に努めます。 ●市民農園を新たに1か所開設したが、利用率は前年度を下回りました。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ●歴史資料館管理運営事業について、さらなる集客アップに向け、積極的なデジタル媒体活用等により広報活動の強化に努めるとともに、ポスター・チラシ等の配置及びPR方法を再検討し、業務運営の改善を図ります。 ●中小企業経営講習会等事業について、市と包括協定を締結している企業との共催について協議中であり、共催を実現すること等により、効率的・効果的な実施に努め、受講者数の増加につなげます。

都市整備局

平成30年度全局共通取組項目の取組実績

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	情報管理や適切な経理事務処理の徹底、交通安全意識の向上など各係における行動を評価し、リスクマネージャーの活動の活性化に重点を置き、リスクマネジメント会議においてリスク事案の共有化を行いました。また、朝礼におけるコンプライアンスに係る唱和などにより、職員への意識付けを図りました。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	年間スケジュールを作成した上で、係長会議で、担当ごとの業務進捗状況、役割を確認し、進行管理を意識づけました。また、組織目標の達成に向けて、管理職が、職位に応じた業績評価目標を各職員に示すことで、求められる役割や責任を認識させました。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	長期、短期の研修や、資格取得の奨励、業務に必要な専門図書の購入などのほか、日常から業務に係る議論を実施することで、職員間において専門性を高めるとともに、知識の共有をすることにつながっています。また、技術者としてのモチベーション向上とプロ意識の醸成のため、大型工事に積極的に係らせたほか、専門技術資格の取得を奨励しました。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	職場内研修（勉強会）を定期的開催するなどの日常からのOJTにより、設計積算に係る考え方の整理や新技術の周知を図るなど、技術継承等に取り組んでいます。また、個別案件への対応で得た知見等のマニュアル化を図り、職員間で共有を行いました。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	人事評価の能力評価及び業績評価において、面談等を通して適正な評価の実現に努めました。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	管理職が、職位に応じた業績評価目標を各職員に示し、組織目標を明確にするとともに、課内会などを通じて、業務進捗に関して情報共有・コミュニケーションを図ることで、風通しの良い職場環境を整えるよう努めました。
「人材育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	年度の終期、始期に担当者が業務マニュアルに手を加えており、人事異動等に伴う引継などに活用するとともに、事務の改善、効率化を図った際に、業務マニュアルに反映しています。また、働き方改革やワークライフバランスの意識を持つよう指導し、カエル会事例提案の検討や事務の効率化が図られるよう努めました。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

都市整備局

▶ 平成28~30年度の取組実績評価（局評価）

達成度					
取組項目数	14 件	効果額		取組項目数	
【取組状況】		目標効果額	35,654 千円	※達成	8 件
実施済	8 件	実績効果額	57,941 千円	※おおむね達成	3 件
着手済	6 件	歳入	57,941 千円	ある程度達成	
未着手		歳出		やや下回っている	2 件
中止		計	57,941 千円	かなり下回っている	
未到来				全くできなかった	1 件
【実施・着手率】	100%	【達成率】	162.5%	【達成率】※の割合	78.6%

▶ 特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名	実施内容（概要）	効果額等
4 - (1) 道路愛護団体による道路愛護の推進	市のHPや広報紙によるPR及び、地域コミュニティ協議会や自治会に対する本制度の周知を図ったほか、国・県により、道路愛護団体事業が実施されている国道、県道に接続する市道において、マイロード事業の推進を図ったことにより、新たに3団体を道路愛護団体に認定し、合計118団体を認定するなど、事業の推進を図りました。	新規認定3団体
2 - (1) 公共下水道接続率の向上	下水道普及促進員による未接続世帯への戸別訪問や接続依頼文の郵送等による周知・啓発活動に取り組んだ結果、接続率が91.7%に上昇し、収入が増加しました。	36,914千円収入増

▶ 目標達成度がかなり下回っている（60%未満）実施項目

分類番号・実施項目名	達成度が低い理由
3 - (1) レンタサイクル事業の見直し	収入増を目指した利用料の改定（値上げ）については、一時利用の相当数が定期利用へ移行したため、当初見込んでいた一時利用収入が確保できておりません。

実績概要

成果	<ul style="list-style-type: none"> ●「公共交通空白地帯の解消」については、新規導入の要望があった地区に対しコミュニティバスの導入支援を1件実施したほか、コミュニティバスの導入等についての地域への説明会を15回開催いたしました。 ●「丸亀町再開発事業の推進」については、適切な指導・助言を行う中、28年度には建物等評価調査業務及び現況測量業務を実施し、30年度に市街地再開発事業の都市計画決定手続きを行い、市街地再開発組合の設立及び事業計画が認可されました。 ●「老朽化に伴う市営住宅の入居者の住替えと住宅の除却」については、老朽化し、用途廃止した元成合町田中団地と元勅使町田中団地の解体工事に向けて、解体実施設計業務を委託しました。 ●「市営住宅への指定管理者制度の導入」については、指定管理者を公募・決定し、指定管理センターの開設や業務の円滑な移行に向けて準備しました。 ●「放置自転車等対策事業」については、放置自転車の削減に向け、学校等への周知文書を配布するなど、周知・啓発の強化を行うとともに、放置自転車禁止区域における移送・撤去を継続して実施しました。また、更なる放置自転車の警告及び撤去件数の減少を図るため、平成31年度から放置自転車禁止区域内において、移送・保管の措置を講ずることができる「相当な時間」を「2時間以上」から「1時間以上」となるよう条例規則を改正しました。 ●「景観の保全、形成、創出」については、屋外広告物改修等事業の補助対象となる既存不適格広告物の広告主に対し、ホームページや新聞広告への掲載により、条例・基準の内容や補助制度の活用について周知・啓発を行いました。 ●「市営駐車場の効率的運用及び利用促進」については、平成26年度に策定した「高松市立駐車場中期経営計画」に基づき、利用促進に努めるとともに、修繕を実施しました。 ●「道路愛護団体による道路愛護の推進」については、市のHPや広報紙によるPR及び、地域コミュニティ協議会や自治会に対する本制度の周知などにより、新たに3団体を道路愛護団体に認定し、合計118団体を認定するなど、事業の推進を図りました。 ●「公共下水道接続率の向上」については、下水道普及促進員による未接続世帯への戸別訪問や接続依頼文の郵送等による周知・啓発活動に取り組んだ結果、接続率が上昇しました。 ●「単独処理浄化槽等から合併処理浄化槽への転換促進」については、合併処理浄化槽への転換及び下水道事業計画区域外の新設に対する助成はもとより、居住誘導区域内等の新設に対して、通常の2倍の額を助成するなど、汚水処理人口普及率の向上に取り組みました。 ●「財務状況開示の拡充」については、市民に対して公営企業会計（下水道事業）の財務状況を明確にするとともに、これまで四半期に1回公表していたものを毎月公表するなど、財務状況開示の拡大に取り組みました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ●「レンタサイクル事業の見直し」については、利用料の改定（値上げ）により、一時利用の相当数が定期利用へ移行したため、利用料収入が減少し、収支バランスの更なる健全化が必要となっています。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ●「公共交通空白地帯の解消」については、導入検討支援制度の拡充を目指しつつ、30年度に新規導入支援を実施した地域に対する継続した支援や、新たな地域への説明会等、コミュニティ交通の導入に向け、それぞれの地域の実情に即した支援に努めてまいります。 ●「レンタサイクル事業の見直し」については、利用促進とイメージアップのため、公募により決定した新デザインを新規整備するレンタサイクルに順次塗装を行うとともに、増加する外国人観光客向けの利用促進策を講じるなど、利用促進を図ります。合わせて、中心市街地の活性化や観光の振興に取り組んでまいります。 ●「単独処理浄化槽等から合併処理浄化槽への転換促進」については、転換を重点化する国の方針に基づき、本市においても、平成31年度から新設に対する助成をすべて廃止した上で、配管に要する費用の上限額を引上げるなど、補助制度の見直しにより、更なる転換促進を図ってまいります。

消防局

平成30年度全局共通取組項目の取組実績

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	各局が取り組んだリスクマネジメント会議の報告内容等を参考に所属内で意見交換を図るなど、コンプライアンス推進に向けた取組みを定期的に行いました。また、各所属において月2回実施するリスクマネジメント会議結果については、局課長署長会にて共有・分析し、再発防止策を検討しました。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	各所属における係長会等の実施により、組織の意思を職員が共有した上で職階に応じた役割分担をするなど、各職員が職務遂行上の責任意識を持てるように努めました。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	年間教養計画に基づき、各種研修や想定訓練を計画的に実施するとともに、外部研修機関や訓練機関へ職員を派遣するなどし、専門性の維持向上に努めました。また、各消防署では、年間訓練計画を作成し定期的に各種訓練を行うなど、職務遂行能力の維持、向上に努めました。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	各所属において、OJT（職場内研修）や業務の複数対応により知識・技術の共有を図るとともに、現場対応の必要な若手職員を計画的に教育するなど、日常業務の中で技術継承に取り組みました。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	人事評価制度の面談の機会を活用し、各職員の業務等に対する意向を確認しながら、適切な目標設定等の支援をするとともに、適正な事後評価により、人材育成の観点からも有効に活用しました。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	毎年度、消防局重点取組項目を定めて職場目標を明確化し、目指すべき方向性を共有した上で、各職員が能力を発揮しやすい環境の構築に努めました。また、ワークライフバランスを積極的に推進するほか、局長と職員との局内ミーティングの実施など、風通しの良い職場づくりに努めました。
「人材育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	各所属において業務の運用を点検し、リスクマネジメント会議の結果等も反映させながら適宜見直しを図り、職務遂行の正確性を向上させるほか、増大する事務の効率化を図りました。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

消防局

▶ 平成28~30年度の取組実績評価（局評価）

達成度					
取組項目数	5 件	効果額		取組項目数	
【取組状況】		目標効果額	114 千円	※達成	2 件
実施済	5 件	実績効果額	5,841	※おおむね達成	3 件
着手済		歳入	5,841 千円	ある程度達成	
未着手		歳出		やや下回っている	
中止				かなり下回っている	
未到来		計	5,841 千円	全くできなかった	
【実施・着手率】	100%	【達成率】	5123.7%	【達成率】※の割合	100.0%

▶ 特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名	実施内容（概要）	効果額等
2 - (1)	廃棄予定の消防用車両を売却し、増収を図りました。	
廃棄消防車両の売却		4,792千円

実績概要	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ●廃棄予定の消防車両を有効活用するため、消防用車両7台を売却し増収を図りました。 ●訓練で使用する非常食を助成するなどの支援を行い、地域の防災訓練実施率が95%となりました。 ●まちかど救急ステーションを9か所新規認定し、普通救命講習などの資格講習を130回実施しました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ●自主防災組織の育成強化については、初期消火や応急手当など災害発生初期対応時の訓練が中心となっているが、大規模災害発生時の長期的な対応を視野に入れた、実践的な訓練の実施を推進する必要があります。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ●大規模災害時において有効な活動ができるよう、従来型の訓練内容に加え、避難所運営や地域特性に応じた訓練等の実施推進、他地区での取組事例の紹介などにより、自主防災組織の育成強化及び活性化を図ります。 ●応急手当普及啓発活動の推進については、救命講習や市民に対する啓発活動を継続して取り組むほか、「まちかど救急ステーション」事業においても、更なるPR活動等により認定事業所の増加に努めます。

病院局

平成30年度全局共通取組項目の取組実績

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	各課ともに「新コンプライアンス推進施策」に記載している各施策を実践し、朝礼時に地方公務員法第30条の唱和を行うほか、毎月25日をコンプライアンスの日とし、職員への意識付けと醸成に努めています。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	年間スケジュールを作成し、担当の役割を明確にするため、課長会・係長会など職位ごとの打ち合わせを行っています。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	職務を遂行していく上で専門的な知識が必要な場合には、専門研修等を受講し、知識の習得を行っているほか、必要な認定資格等の取得を促し、スペシャリストの育成にも努めています。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	医療現場での若手職員の技能向上を図るため、日常業務の中で上司や先輩が率先し、技術継承に取り組みました。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	人事評価制度の趣旨に則り、組織として、職員の職務遂行の管理やその能力評価を行っています。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	毎年、職場目標のスローガンを定め、職務に対する一体感を呼び起こすほか、各課で毎日の朝礼などを通じて、積極的にコミュニケーションをとるとともに、各職種、各業務毎に開催する会議を定期的に行うなど、風通しのよい職場環境の整備に努めました。また、業務改善の取組の一環として、職員提案用『院長への提言』を設置し、現場からの声が生かせるような組織風土の醸成にも努めました。
「人材育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	看護手順などの各業務ごとにマニュアルを作成しており、業務の改善と効率化を図るため、適宜見直しを行っています。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

病院局

▶ 平成28~30年度の取組実績評価（局評価）

達成度					
取組項目数	6 件	効果額		取組項目数	
【取組状況】		目標効果額	千円	※達成	2 件
実施済	3 件	実績効果額		※おおむね達成	3 件
着手済	3 件	歳入	千円	ある程度達成	1 件
未着手	件	歳出	千円	やや下回っている	件
中止	件			かなり下回っている	件
未到来	件	計	千円	全くできなかった	件
【実施・着手率】	100%	【達成率】	—	【達成率】※の割合	83.3%

▶ 特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名	実施内容（概要）	効果額等
1 - (2) メディカルスタッフの スペシャリストの育成	看護師を始めとするメディカルスタッフのスキルアップの視点を踏まえ、各職種において特定の専門性を必要とする業務に、必要な認定資格等の取得を促し、医療の質の向上を目指し取り組んだ結果、平成30年度認定資格者等取得者数が85人となった。	—

実績概要	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ●メディカルスタッフのスペシャリストの育成については、医療の質の向上を図るとともに、病院機能を強化するために、個々の職員のスキルアップの視点も踏まえ、各職種において特定の専門性を必要とする業務に、必要な認定資格等の取得を促し、それらに従事する職員の育成に努めました。 ●効率的な物品管理体制の構築については、公募型プロポーザル方式による業者選定に取り組み、新病院でのSPDシステムを導入しました。 ●現年分収納率の向上については、クレジットカード、Iruca決済等、多様な納付方法が選択できることを継続するとともに、来院時等における未納者への接触機会を増やすなど、回収促進に取り組みました。 ●市立病院の統合・再編については、平成27年度において、新病院の建設工事に着手し、30年9月1日に高松市仏生山町に新築移転し、「高松市立みんなの病院」として開院しました。また、附属医療施設については、早期の開院に向け、全力で取り組みます。 ●経営の健全化については、医療の「質・透明性・効率性」の確保を図るため、「高松市病院事業経営健全化計画」に基づき、目標達成に向けて取り組みました。具体的には、みんなの病院では、本市医療全体の最適化を目指すリーディングホスピタルとしてそれぞれの医療分野において専門性を高めながら地域医療水準の向上を図るとともに、急性期病院として、地域の医療機関等との機能分担と連携をより一層強化し、「がん医療」、「救急医療」、「災害時や感染症に対する医療」などの急性期医療に加え、「地域包括ケア等の後方支援機能の強化」に重点的に取り組んでいます。また、塩江分院では、「在宅療養支援病院」として、医師、看護師が24時間・365日体制で患者の在宅療養の支援に積極的に取り組みました。 ●地域住民との相互理解の醸成については、塩江分院では「地域まるごと医療」を基本方針とし、多職種のメディカルスタッフによる訪問指導や健康相談に取り組みました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ●新病院の整備については、平成30年9月1日、高松市民病院と高松市民病院附属香川診療所を統合し「高松市立みんなの病院」として新築移転し開院しましたが、附属医療施設の整備については、できる限り早期に整備する必要があります。また、両施設の医療機能については、引き続き国の医療施策の方向性等に対応する必要があります。 ●良質な医療の提供と経営の健全化については、職員全員が、市立病院の基本理念「生きる力を応援します」の実現に向け、「市民から選ばれる病院」となるよう、全力で取り組んでいく必要があります。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ●市立病院の経営は非常に厳しい状況にありますが、「高松市病院事業経営健全化計画」に基づく、取組を確実に実施するほか、地域の医療機関との連携をより一層強化し、これまで以上に「良質な医療の提供」に努め、多くの市民から信頼され、選ばれる病院を目指します。

教育局

平成30年度全局共通取組項目の取組実績

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	各課とも、「新コンプライアンス推進施策」に記載されている各施策を実践するとともに、常に職場内での情報共有や意識啓発を図りました。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	各課とも、年度当初に年間スケジュールを作成するとともに、職員それぞれが求められる役割・能力を十分に理解し、協力しながら職務を遂行しました。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	学校教育課、保健体育課など、指導主事の配置がある所属においては、専門性の伴う各種研修会や会議等に参加し、専門性の維持、向上に努めました。 また、中央図書館では、香川県図書館協会が実施している研修（利用者対応、図書館資料の選定、著作権、読み聞かせ等）に積極的に参加し、専門的知識を習得することで、図書館サービスの向上に努めました。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	学校教育課、総合教育センターなどにおいては、特定の職員が同一の業務を継続して担当しないように留意し、複数の職員が一定の内容は把握している体制づくりに努めました。 生涯学習課においては、事務分掌で主担当者・副担当者を定め、日頃から副担当者と情報を共有し、事業実施について協力できる体制をとり、事業実施のノウハウを継承できるように努めました。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	個人や組織のレベルアップにつながるように人事評価制度を活用し、各職員が目標設定に基づき高い意識を持ちながら業務を行うとともに、十分な面談を通して、適正な評価の実現に努めました。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	風通しのよい職場実現のため、管理職を中心に積極的に課員とコミュニケーションを図り、局内や課内の課題や情報の共有、情報提供に努めました。
「人材育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	各課において、業務ごとのマニュアルを作成し、随時更新を行いながら、日常の業務遂行や引継ぎ時などに活用しました。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

教育局

▶ 平成28~30年度の取組実績評価（局評価）

達成度					
取組項目数	6 件	効果額		取組項目数	
【取組状況】		目標効果額	千円	※達成	2 件
実施済	1 件	実績効果額		※おおむね達成	1 件
着手済	5 件	歳入	千円	ある程度達成	2 件
未着手		歳出	千円	やや下回っている	1 件
中止				かなり下回っている	
未到来		計	千円	全くできなかった	
【実施・着手率】	100%	【達成率】	—	【達成率】※の割合	50.0%

▶ 特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名	実施内容（概要）	効果額等
3 - (1) 教育資金支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ●高松市に居住し、成績優秀かつ向学心おう盛な生徒であって、家庭の経済的理由のため、就学困難な者に対して、奨学金を支給します。 ●高等学校等に入学を希望する者の保護者で入学準備金の調達が困難な者に対して、入学準備金を貸付けます。 	—

実績概要	
成果	●教育資金支援事業：平成28年度高松市外部評価対象事業となり、奨学金制度については成績要件の見直しが必要との意見を受け、平成29年度奨学生から成績要件の引上げ（平均3.1以上→3.5以上）を行いました。
課題	●教育資金支援事業：経済的理由により就学困難な者の増加により、成績要件の見直しを行っても、支給対象者の減少につながらないことも想定され、財政負担の縮減に直接的につながらない場合もあります。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ●教育資金支援事業：今後の経済情勢などを注視する中で、他市の状況も踏まえ検討します。 ●学校給食調理場の整備及び運営方法の検討：学校給食調理場の整備については、30年度に引き続き建設工事を行うとともに厨房機器等の納入設置を行い、高松市新設第二学校給食センター（仮称）の完成に努めるとともに、運営方法を決定します。

監査委員事務局

平成30年度全局共通取組項目の取組実績

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	毎週金曜日の朝礼において、職員の当番制によるコンプライアンス関連の講和や、「Takamatsu CS Credo」や地方自治法の唱和を実施しました。また、月に2回、リスクマネジメント会議を開催し、職員のコンプライアンス意識の向上に努めました。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	局の職場目標（管理職の人事評価の業績目標）を開示し、組織目標の共有・浸透を図るとともに、管理職を含めた局内の打ち合わせを定期的に行い、職位ごとに求められる責任、役割の認識を深め、職場一丸となって職務を遂行しました。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	市町村アカデミーや国際文化研修などの人事課主催の研修に参加したほか、その研修参加者が講師となって職場内研修を実施、職員間で専門性の維持、向上を図りました。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	毎年事務分掌を見直し、担当業務について、前任者が課内に在籍し、サポートできる状態でスムーズな事務引継、技術継承が出来るよう体制を構築しています。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	人事評価の能力評価・行政評価における十分な面談や、希望者への評価結果の開示などを通じて、適正な評価の実現に努めました。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	子育てや介護等を担う職員も多く、職員一人一人がワーク・ライフ・バランスをうまく保ちながら、安心して自らの職責を果たせるよう、日頃から職場内のコミュニケーションを深めたり、業務分担内容に配慮するなど、休暇等が取得しやすい職場風土づくりに努めました。
「人材育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	法制度の改正等、必要に応じて随時、業務マニュアルの内容更新等を行っています。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	リスクマネジメント会議では、リスクにつながりそうな事例を早い段階で情報共有するとともに、その原因を追究し、全員で対応することができました。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	月2回係長会議を開催し、課内の懸案事項の協議を行い、その都度、事業の方向性や担当者等を決定しました。また、選挙課内で共通の認識が持てるよう事業の進捗状況の確認や情報の共有を図りました。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	身近な統一地方選挙においては、多数の問い合わせや苦情が寄せられ、公職選挙法及び事例の研究等の専門的知識の向上を図りました。また、それらの事例については、共有ファイルで課内全員で情報共有を図りました。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	選挙時の併任職員について、担当業務ごとに経験と知識を有する併任職員を配置し、未経験の併任職員への技術継承に取り組みました。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	人事評価の能力評価及び業績評価において、面談を通して適正な評価の実現に努めました。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	選挙の準備には、膨大な事務が発生し、休日出勤や時間外勤務を余儀なくされるが、係間で協力しながら風通しの良い環境職場づくりに努めました。
「人材育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	各担当ごとに作成している選挙業務マニュアル及び、全体の主要事務日程表を確認し、適正に選挙を管理執行する中で、適時見直しを行いました。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	毎週月曜日の朝礼で「Takamatsu CS Credo」を唱和し、定期的にリスクマネジメント会議を開催するなど「新コンプライアンス推進施策」に記載している各施策を実践し、コンプライアンス推進を徹底しました。 特に、職場の使命（ミッション）である優良農地の確保と担い手への農地集積・集約化の施策に重点を置き、職員への意識付けを図りました。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	業務上の懸案事項について管理職を含め相談する体制をとるなど、職位ごとに求められる責任、役割を認識しながら問題の解決に努めました。 また、各係ごとに、I L U Oチャートを作成し、その評価による担当者の成長度合いの見える化、モチベーションのアップを図りました。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	日常的に職員間で業務についての相談を行うほか、四半期ごとに、講師（事務担当者）の持ち回りによるO J T（農地関係法令研修）を実施し、職場全体の専門性の維持、向上に努めました。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	ベテラン職員の人事異動に対応するため、各係員全員が全ての業務に係る専門的な知識を取得できるよう、原則2年間ごとのジョブローテーションを実施し、前任者が課内に在籍しているうちに引継ぎを行えるようにしました。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	人事評価の能力評価及び業績評価において、十分な面談や希望者への評価結果の開示などを通して適正な評価の実現に努めました。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	「農政全般にわたる専門的な知識を有するプロフェッショナル集団を育てる組織への改革」という職場目標を設定し、目標達成に向けて毎月最低1回の係内ミーティングを実施しました。 また、日々のコミュニケーションを積極的に行い、風通しの良い職場環境の整備に努めました。
「人材育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	不定期な個別法務局登記異動通知の人的処理事務を廃止し、削減した時間を転用許可申請案件の審査、地区農業委員等との現地で発生する事案に係る綿密な意思疎通、来客・電話対応に有効活用しました。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

市議会事務局

平成30年度全局共通取組項目の取組実績

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	各課ともに「新コンプライアンス推進施策」の施策実施に取り組み、コンプライアンスの徹底を図りました。特に、「毎週金曜日をコンプライアンス推進日に設定」の施策に重点を置き、職員への意識付けを図りました。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	各課において、年間スケジュールを作成し、局内係長会で情報を共有するとともに、担当の役割を明確にするための係内打ち合わせを行いました。また、終礼を実施し、担当ごとの進捗状況の把握に努めました。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	人事課等が実施する職員研修のほか、市議会議長会が実施する事務局職員研修会に所属職員を積極的に参加させました。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	各課の事務分掌において、在課年数の長い職員と短い職員を組み合わせ、技術継承に取り組みました。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	人事評価の能力評価及び業績評価において、各課ともに十分な面談を通して適正な評価の実現に努めました。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	各課において、「風通しの良い職場の実現」という職場目標を設定し、係長会后に係内ミーティングを実施しました。
「人材育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	係単位で作成している業務マニュアルについて適宜見直しを図りました。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

出納室

平成30年度全局共通取組項目の取組実績

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	朝礼において、毎週水曜日は不祥事撲滅推進プログラムを、金曜日は「高松市職員の倫理及び公正な職務の執行の確保に関する条例」第3条及び第4条を読み上げることで、室内全職員でコンプライアンス意識を高めました。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
1	(2)	各係において担当ごとの進捗状況を把握し、適切に指示をしました。 また、業務上の懸案事項等について、管理職を含め相談する体制を作っており、その中で職位ごとの責任や役割を認識しながら問題の解決に努めました。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
1	(2)	普段から職員間で業務についての相談を活発に行っているほか、レアケースについての情報共有を図ることで、専門性の維持、向上を図りました。
専門性の維持、向上		
1	(2)	1年ないし、2年ごとに担当業務や担当する課を入れ替え、前任者が課内に在籍しているうちに引き継ぎを行えるよう努めることで、技術継承の推進を図りました。
技術継承の推進		
1	(3)	人事評価制度に基づき、評価者による面談を漏れなく実施するとともに、管理職等上位の者が設定した目標を部下と情報共有するなど、室内での意思疎通を図るなかで、各人が目標を持って業務に携われるよう努めました。
人事評価制度の適正な運用		
1	(3)	室の懸案事項について室内で情報共有を図るとともに、相談しやすい、風通しの良い職場の実現に努めました。
「人材育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
1	(4)	業務ごとに担当者が見直しを行いました。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

3 プロジェクト進行管理制

項番	1	分類番号	1 - (1) (コンプライアンスの徹底)	リーダー	総務局 コンプライアンス推進課
主な関係課	全課				
実施項目	コンプライアンスの徹底				

1. 実施内容(計画策定時)

<p>「新コンプライアンス推進施策」に基づき、推進チームとして引き続き、個々の職員のコンプライアンス意識の向上を図るとともに、不祥事が発生しない職場環境づくりを推進するなど、事務局（コンプライアンス推進課）と連携し、コンプライアンスの徹底に取り組みます。</p>

2. 取組実績

【成果】	<p>毎年度実施している「コンプライアンスアンケート」について、今後、展開すべき事業の方向性を検証するため、それまでの職員の意識を問う設問のほか、新たに、職員の行動や習慣化を問う設問を加えました。</p> <p>また、「さわやかサービス推進チーム」と連携し、新規採用職員に対して電話・窓口対応研修を実施しました。</p>
【課題】	<p>「コンプライアンスアンケート」の結果、職員のコンプライアンス意識は2年連続で低下しています。</p> <p>さらに、不祥事につながるおそれのある場面に直面しても、具体的な行動を起こす職員が少ないという回答結果から、コンプライアンス意識が行動につなげられていないものと思われます。</p>
【今後の取組】	<p>「コンプライアンスアンケート」の結果等を踏まえ、「新コンプライアンス推進施策」に基づく各種取組についてより効果的な実施方法を検討し、実施するほか、必要に応じて同施策の見直しを図ることなどにより、職員一人一人のコンプライアンス意識の向上に努めます。</p>
【目標達成度】 (6段階評価)	3 (ある程度達成)

項番	2	分類番号	2 - (1) (自主財源の確保)	リーダー	財政局 税務部 納税課 (債権回収室)
主な関係課	国保・高齢者医療課、介護保険課、こども園運営課、こども家庭課、みんなの病院事務局医事課、市営住宅課、出納室				
実施項目	債権管理の適正化				

1. 実施内容(計画策定時)

<p>市民の貴重な財産である債権の管理に万全を期すため、計画的で適正な債権管理の取組を進めます。</p> <p><主な検討・実施内容></p> <p>①債権管理・回収マニュアル等の改定</p> <p>②電話催告や臨戸訪問等の取扱い</p> <p>③納付環境の整備</p> <p>④債権回収ノウハウの共有</p>

2. 取組実績

【成果】	<p>平成30年度の債権管理の適正化プロジェクトチーム会議において、収納率の向上や収入未済額の削減方策等について協議し、本市の全庁的な方針として、「第3次高松市債権の適正管理方針」を策定しました。</p> <p>また、各課の取組状況や課題等についての意見交換を行い、債権管理・回収に関する情報共有を図ることができました。</p>
【課題】	<p>債権管理・回収に関するノウハウの伝達や債権所管課内での情報共有に努めていますが、担当職員の異動、他業務との兼ね合いや過去に実績が少ないことから強制処分の実績が上がっていない債権があります。</p>
【今後の取組】	<p>債権所管課が強制処分等の実績を上げられるよう、債権回収室が中心となり、継続的な収納担当実務研修会の開催や継続的な助言・指導を行うとともに債権管理のノウハウについて情報発信を行うことで、本市全体の債権管理の適正化を強化します。</p>
【目標達成度】 (6段階評価)	5 (達成)

項番	3	分類番号	2 - (2) (ファシリティマネジメントの 推進)	リーダー	財政局 財産経営課 (ファシリティマネジメン ト推進室)
主な関係課	公共・公用施設等の建築物を保有・維持管理している全課 (ただし、国の指針に基づき進められている土木・インフラ系施設部門等は除く)、政策課、財政課、建築課				
実施項目	ファシリティマネジメントの推進				

1. 実施内容(計画策定時)

<p>本市の今後の財政状況から、現在ある全ての公共施設を維持することはできないため、思い切った削減が必要となっています。平成27年度に策定した「高松市公共施設有効活用・再配置等方針」に基づき、公共施設の複合化や統廃合、規模の見直し等を行うとともに、老朽化した施設は廃止、民間の運営が適当な施設は売却するなど、公共施設の総量削減や配置の見直しを進めます。そのための、個別施設の方向性を定める、「公共施設再編整備計画」の策定に取り組みます。</p> <p>【取組推進に当たっての留意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○施設利用者や地域住民への十分な説明 ○多核連携型コンパクト・エコシティ推進計画などの関連計画との整合 ○施設ごとの中長期保全計画に基づく、LCCの効率化 ○継続使用する施設のうち、必要な施設は長寿命化対策（予防的な保全など）を実施
--

2. 取組実績

【成果】	<p>「高松市公共施設再編整備計画（案）3次」（対象170施設）について、議会等関係機関への説明を行った後、パブリックコメント及び市民説明会を行いました。</p> <p>また、平成28年度から策定を進めていた1次分（対象80施設）・2次分（対象577施設）・3次分（対象170施設）を合わせた「高松市公共施設再編整備計画」を平成30年10月に策定しました。</p>
【課題】	<p>高松市公共施設再編整備計画に定めた各施設の方向性（総合評価結果）のうち、「廃止」や「用途変更」など、「継続」以外の方向性を定めた施設については、引き続き、具現化できる施設から「高松市公共施設再編整備実施計画」を策定し、ファシリティマネジメントの取組効果の早期発現を目指す必要があります。</p>
【今後の取組】	<p>高松市公共施設再編整備実施計画の策定を進め、公共施設の総量の適正化に努めます。</p>
【目標達成度】 (6段階評価)	4 (おおむね達成)

項番	4	分類番号	2 - (4) (社会保障費の抑制)	リーダー	健康福祉局 国保・高齢者医療課
主な関係課	長寿福祉課、介護保険課、地域包括支援センター、保健センター、政策課、コミュニティ推進課、産業振興課				
実施項目	保険給付費適正化				

1. 実施内容〔計画策定時〕

<p>増大する国民健康保険、介護保険の保険給付費の適正化について、関係課が連携を強化し、効率的・効果的に取り組むため、引き続きプロジェクトチームを設置し、次の事務・事業を行います。</p> <p>①保険給付費の実態に関する分析 ②保険給付費の適正化に関する計画の見直し及び検証 ③保険給付費の適正化に関する周知啓発等</p>
--

2. 取組実績

【成果】	<ul style="list-style-type: none"> ●平成30年3月、高松市第2期データヘルス計画（第3期国民健康保険及び介護保険の保険給付費適正化計画）を策定し、「第2期高松市国民健康保険及び介護保険の保険給付費適正化計画」で中心的に取り組んできた糖尿病予防や介護予防、慢性腎臓病（CKD）予防対策等をさらに推進しています。 ●介護予防、健康づくりについて、新たに、特定健診の結果等も対象者の抽出条件に加え、各種介護予防教室や運動教室の案内状を送付し、参加者数を伸ばしています。 ●保険給付費適正化について、関係担当課が開催する健康教室、介護予防教室等で啓発し、医療費の適正化や財政状況の理解を求めるとともに、生活習慣病の予防や介護予防等への意識を高め、普段の生活の中での健康づくりへの取組につなげています。
【課題】	<ul style="list-style-type: none"> ●生活習慣病の早期発見、早期治療のため、特定健康診査の受診率や特定保健指導の実施率をさらに高め、必要があるのに医療機関を受診していない人を医療につなげる必要があります。 ●高額レセプト発生疾患である腎不全の予防対策（糖尿病重症化予防、CKD重症化予防等）をさらに効果的に実施する必要があります。 ●データヘルス計画を適正に評価していくために、各年度ごとのデータの集約や分析ができる体制をとり、令和2年度の間評評価を確実に実施することが重要です。
【今後の取組】	<ul style="list-style-type: none"> ●特定健診の受診率や特定保健指導の実施率を高めるため、一部医療機関での受診期間の延長や、個人や関係団体への周知活動を活発に行います。 ●今回策定したデータヘルス計画の目標達成のため、PDCAサイクルを意識した実施・評価を行います。 ●各課と連携を取り、共通目標の達成状況などを共有し、各事業に還元していきます。 ●保険給付費の適正化状況を国保・高齢者医療課が集約し、各課の次年度以降の事業を検討する材料とします。 ●引き続き、各種団体に、保険給付費適正化についての周知啓発活動を積極的に行います。
【目標達成度】 (6段階評価)	4（おおむね達成）

項番	5	分類番号	3 - (3) (最適な行政サービスの提供)	リーダー	総務局 人事課 (行政改革推進室)
主な関係課	情報政策課、コンプライアンス推進課、市民課、人事課、危機管理課、納税課、市民税課、資産税課、健康福祉総務課、国保・高齢者医療課、障がい福祉課、生活福祉課、長寿福祉課、介護保険課、子育て支援課、こども家庭課、こども園運営課、保健対策課、保健センター、市営住宅課、消防局総務課、学校教育課、保健体育課				
実施項目	社会保障・税番号制度の推進				

1. 実施内容(計画策定時)

<p>社会保障・税番号制度を効率的かつ円滑に推進するために、次に掲げる事項について検討します。</p> <p>①番号制度に関連するシステム改修に関すること。 ②個人番号の独自利用に関すること。 ③個人番号通知カード及び個人番号カードの交付に関すること。 ④特定個人情報保護評価に関すること。 ⑤例規の整備に関すること。 ⑥情報セキュリティ対策に関すること。 ⑦その他、番号制度に関すること。</p>

2. 取組実績

【成果】	<ul style="list-style-type: none"> ●プロジェクトチーム会議を開催しました。 ●30年4月から、地域経済応援ポイント（高松市ポイント）実証事業を開始しました。 ●たかまつ市場フェスタ、税務署と連携した申告会場でのカード取得キャンペーン等、普及促進キャンペーンを実施しました。 ●専従の人員の配置により、マイナンバーカードの円滑な交付を継続しました。 ●タブレット端末を使用し、写真撮影及びインターネット申請を行うサービスを継続しました。 ●30年7月のデータ標準レイアウト改版に伴う副本登録を行いました。追加された情報連携について、7月から試行運用、10月から本格運用を開始しました。
【課題】	<ul style="list-style-type: none"> ●マイナンバーカードの普及促進。 ●令和元年6月のデータ標準レイアウト改版に係る副本登録、試行運用及び本格運用への対応。 ●通知カード廃止、交付済通知カードの記載事項変更等の手続き廃止への対応。 ●マイナンバーカード電子証明書更新事務への対応。 ●マイナンバーカードを活用した消費活性化策（プレミアムポイント）への対応。 ●カード利活用策の検討
【今後の取組】	<ul style="list-style-type: none"> ●マイナンバーカードの普及を図るため、利便性のPR等効果的な広報を行います。 ●マイナンバーカード取得キャンペーンを実施します。 ●制度改正等に対し、遅滞なく、適切に対応します。 ●国の動向を注視し、マイナンバー制度を更に効果的に推進するため、市民の利便性向上に向けた独自利用事務、利活用策の検討等を行います。
【目標達成度】 (6段階評価)	4 (おおむね達成)

【平成28年度追加項目】

項番	6	分類番号	4 - (3) (市政の見える化)	リーダー	環境局 環境総務課
主な関係課	環境総務課、情報政策課、政策課、納税課、保健センター、産業振興課、都市計画課、生涯学習課、みんなの病院事務局総務課				
実施項目	本市公式ホームページの再構築に向けた基本的事項の検討				

1. 実施内容

<p>高松市公式ホームページを再構築し、利用者にとって、より分かりやすく、親しみやすいものとするための基本的事項を検討します。</p>

2. 取組実績

【成果】	<ul style="list-style-type: none"> ●総合トップページにより、「くらし、観光、事業者向け」へと入り口を分けることで、利用者が求める情報まで辿り着きやすくなりました。 ●「くらしの情報」では、5種類のグローバルナビ、8種類の便利ナビで情報を分けることで、見たい情報を検索しやすくなりました。 ●各インデックスページの情報表示の方法に、開閉方式やブルダウン方式を採用することにより、ページのデザインを崩すことなく、一つのページで多くの情報を表示できるようになりました。
【課題】	<p>各ページの階層を5階層以内にまとめるということを当初は目的としていましたが、移行期間の中で、全ての階層を確認することが困難であったため、運用開始後も階層整理を実施する必要があります。</p>
【今後の取組】	<p>今後の運用の中で、階層の構成が煩雑化しているグループや、閲覧頻度の高いページについては、より容易に目的のページにたどり着けるよう随時改善を行っていきます。</p> <p>また、より多くの人に情報を届けられるよう、SNS等の情報発信ツールを活用し、これらと連携することにより、ホームページへのアクセス数の増加に努めます。</p>
【目標達成度】 (6段階評価)	5 (達成)

【平成29年度追加項目】

項番	7	分類番号	4 - (1) (市民の市政参画意識の醸成と協働の取組)	リーダー	市民政策局 政策課
主な関係課	政策課、コミュニティ推進課、まちづくり企画課、障がい福祉課、長寿福祉課、長寿福祉課地域包括ケア推進室、子育て支援課、保健センター、産業振興課、市営住宅課、生涯学習課				
実施項目	高松版生涯活躍のまち構想検討				

1. 実施内容

<p>移住者を含めた地域住民が、多世代と交流し、健康で活動的な生活を送れる地域づくりを進めるとともに、雇用創出や人口減少の抑制を目指し、「高松版生涯活躍のまち構想（仮称）」の策定について検討・協議します。</p>
--

2. 取組実績

【成果】	庁内プロジェクトチームを4回開催し、「高松版生涯活躍のまち構想」策定に向けて、関係課で協議しながら、平成31年3月に同構想を策定しました。
【課題】	
【今後の取組】	
【目標達成度】 (6段階評価)	5 (達成)

【平成29年度追加項目】

項番	8	分類番号	4 - (1) (市民の市政参画の醸成 と協働の取組)	リーダー	健康福祉局 健康福祉総務課
主な関係課	コミュニティ推進課、危機管理課、障がい福祉課、長寿福祉課、介護保険課、地域包括支援センター、保健センター、消防局予防課、消防防災課				
実施項目	「高松市災害時要援護者支援に関する手引書」改訂				

1. 実施内容

<p>大規模災害での教訓及び課題や、内閣府作成の「福祉避難所の確保・運営ガイドライン」を踏まえ、「高松市災害時要援護者支援に関する手引書」を改訂するとともに、その内容を具体化した要領、マニュアル等を作成します。</p>

2. 取組実績

【成果】	2008年10月に策定以降、見直しされていなかった「高松市災害時要援護者支援に関する手引書」を改訂するため、29年度中に計5回の会議を重ね、より現状に合った地域の支援体制の充実を図るための手引書に改訂しました。
【課題】	手引書の内容を具体化した要領、マニュアル等を策定する必要があり、29年度中に検討を行いました。一部調整を要する事項があり、30年度中の調整がつかなかったため、まだ完成できていません。
【今後の取組】	プロジェクトチームでさらに検討を重ね、今年度中の策定を目指して要領、マニュアル等の作成に取り組みます。
【目標達成度】 (6段階評価)	4 (おおむね達成)

【平成29年度追加項目】

項番	9	分類番号	3 - (3) (最適な行政サービスの提供)	リーダー	健康福祉局 子育て支援課
主な関係課	子育て支援課、こども女性相談課、生活福祉課、こども家庭課、こども園総務課、こども園運営課、保健センター、産業振興課、学校教育課				
実施項目	子供の貧困対策推進				

1. 実施内容

高松市子どもの貧困対策推進計画を策定するとともに、子どもの貧困対策を総合的に推進するための連携を図ります。

2. 取組実績

【成果】	高松市子どもの貧困対策推進計画の進捗管理を行うとともに、子どもの貧困対策を総合的に推進するための連携を図りました。
【課題】	子どもの貧困対策がより実情に即したものとなるよう、関係部局の連携を図る必要があります。
【今後の取組】	子どもの貧困対策を総合的に推進するために、より一層、関係部局の連携を図ります。
【目標達成度】 (6段階評価)	4 (おおむね達成)

【平成30年度追加項目】

項番	10	分類番号	4- (1) (市民の市政参画の醸成 と協働の取組)	リーダー	市民政策局 コミュニティ推進課
主な関係課	コミュニティ推進課、危機管理課、健康福祉総務課				
実施項目	自治会の在り方等を検討				

1. 実施内容

<p>自治会加入率減少の状況を打開するため、自治会の原点に戻って見直しを行い、加入・未加入者にとって魅力ある自治会となるよう地域・行政ともに取組み、今後の自治会の再生を目指します。</p>
--

2. 取組実績

【成果】	<p>平成29年度に行った「自治会活動に関するアンケート調査結果」を踏まえ、「目指したい自治会の姿」を明確にした上で、地域と行政が、それぞれの役割や課題を整理し、地域住民から共感を得られる活動や、加入・継続しやすい自治会の在り方等について議論を深めた結果を30年12月末に、「自治会の在り方等に関する中間報告書」として取りまとめました。</p>
【課題】	<p>自治会にとっての課題の洗い出しや、目指したい自治会の姿については、議論を深め、中間報告書の取りまとめまでは行いましたが、具体的な取組みを行うところまでには至らなかったため、自治会加入率の上昇には繋がっていません。</p>
【今後の取組】	<p>「目指したい自治会の姿」を明確にした上で、地域・行政の取組みや自治会と行政との関わりについて検討し、最終報告書を取りまとめる。市としては、この報告書を踏まえ、今後の自治会の再生に向けて、必要な施策の検討・実施など対応を行います。</p>
【目標達成度】 (6段階評価)	3 (ある程度達成)

【平成30年度追加項目】

項番	11	分類番号	4- (1) (市民の市政参画意識の 醸成と協働の取組)	リーダー	健康福祉局 健康福祉総務課
主な関係課	政策課、政策課移住・定住促進室、コミュニティ推進課、地域振興課、牟礼総合センター、香川総合センター、勝賀総合センター、国分寺総合センター、くらし安全安心課、市民課、人権啓発課、住宅・まちづくり企画課、交通政策課、人事課、人事課行政改革推進室、税務部、国保・高齢者医療課、障がい福祉課、生活福祉課、長寿福祉課、地域包括ケア推進室、介護保険課、地域包括支援センター、子育て支援課、こども女性相談課、こども家庭課、こども園総務課、こども園運営課、保健センター、産業振興課、スポーツ振興課、消防局総務課、学校教育課、生涯学習課、健康福祉総務課				
実施項目	高松市地域共生社会を推進				

1. 実施内容

<p>社会福祉法（昭和26年法律第45号）第106条の3第1項の規定に基づき、地域共生社会の実現に向けて、地域の福祉に係る生活の課題を把握し、当該課題の解決に資する支援を包括的に行う体制について検討及び協議を行います。</p>

2. 取組実績

【成果】	多機関の協働による包括的支援体制として、どんな福祉の困りごとにも対応できる事業（「まるごと福祉相談員」）を、平成30年8月から、勝賀エリア、香南エリアに各1名配置することができました。
【課題】	地域力強化の推進として、各総合センター等に福祉の総合相談窓口設置、住民主体で包括的に地域課題を把握し解決を試みる体制の構築に向けての課題解決に取り組んでいきます。
【今後の取組】	プロジェクトチームでさらに検討を重ね、地域共生社会の実現に向けて取り組みます。
【目標達成度】 (6段階評価)	4（おおむね達成）

【平成30年度追加項目】

項番	12	分類番号	2- (1) (自主財源の確保)	リーダー	産業経済部長
主な関係課	産業経済部長、政策課、住宅・まちづくり企画課、財産経営課、健康福祉総務課、産業振興課、観光交流課、スポーツ振興課、競輪場事業課、都市計画課				
実施項目	高松競輪場の有効活用検討				

1. 実施内容

競輪事業の効率的運営

2. 取組実績

【成果】	市民にとって身近に感じられる競輪場づくりに向け、その有効活用を検討するため、庁内関係課で構成するプロジェクトチームを設置して、若年層や女性の観点から、現在の競輪場で実施可能な各種イベントの開催等の魅力向上対策について検討し、プロジェクトチームとして、取組の方向性について整理しました。
【課題】	平成30年度においては、当初の予定通りのプロジェクトチームの運営を行うことができました。
【今後の取組】	令和元年度においては、魅力的なイベント開催や情報発信の改善、市役所全体での催事の掘り起こしを行うとともに、主として土地の長期的な利活用方法をテーマに会議を開催し、年度内を目途にP Tによる検討結果を報告書として取りまとめます。
【目標達成度】 (6段階評価)	5 (達成)

4 【参考】平成28年度外部評価による事業の見直し状況

No.	事業名	担当局 (担当所属)	判定 結果	検討 方向	H30年度 当初予算	R元年度 当初予算
1	公衆便所管理等事業	環境局 環境施設対策課	改善	改善	14,599	13,947 (▲652)
2	コミュニティセンター 講座等事業	教育局 生涯学習課 生涯学習センター	改善	改善	19,324	19,324
3	歴史資料館管理運営事業 (ほか関連4事業)	創造都市推進局 文化財課	改善	改善	69,492	73,030 (3,538)
4	図書館運営事業 (ほか関連1事業)	教育局 中央図書館	改善	改善	371,889	374,503 (2,614)
5	教育資金支援事業	教育局 学校教育課	改善	改善	27,059	27,074 (15)

【参考】平成29年度外部評価による事業の見直し状況

No.	事業名	担当局 (担当所属)	判定 結果	検討 方向	H30年度予算 当初予算	R元年度 当初予算
1	男女共同参画社会推進事業	市民政策局 男女共同参画・協働推進課	改善	改善	1,208	1,168 (▲40)
3	高齢者福祉通信機器貸与等事業	健康福祉局 長寿福祉課	縮小	縮小	2,276	1,629 (▲647)
4	高齢者住宅改造助成事業	健康福祉局 長寿福祉課	改善	改善	5,280	4,920 (▲360)
5	市民農園整備事業	創造都市推進局 農林水産課	改善	改善	1,686	1,536 (▲150)
6	観光ボランティアガイド育成事業	創造都市推進局 観光交流課	改善	改善	505	505
7	観光団体育成事業	創造都市推進局 観光交流課	改善	改善	2,211	2,211

【参考】平成30年度外部評価による事業の見直し状況

No.	事業名	担当局 (担当所属)	判定 結果	検討 方向	H30年度予算 当初予算	R元年度 当初予算
1	中小企業経営講習会等事業	創造都市推進局 産業振興課	改善	改善	1,635	1,635
2	高齢者福祉タクシー助成事業	健康福祉局 長寿福祉課	改善	改善	15,271	14,513 (▲758)
3	違法駐車防止対策事業	都市整備局 交通政策課	縮小	縮小	475	0 (▲475)

